

## 南消防署から



### 大雪に備えよう！

横浜市のように雪国から離れている都心部は、**雪に弱く、たった数センチの積雪でも、交通機関がマヒしたり、ライフラインが停止**してしまふことがあります。

そして、雪が降ると**交通事故や転倒などのけがによる救急件数**が大幅に増加します。

するとどうなるでしょう？

もし、けがをして119番通報しても、救急車が現場や病院に着くまで、悪天候の道路事情もあって、大幅に時間がかかってしまいます。また、救急車が足りなくなることも想定されます。

そんなことにならないよう、積雪時の準備を行いましょ！



#### 事前の準備

交通機関の混雑やライフラインの停止に備えて、事前に必要なものを用意しておきましょう！

##### 水・食料・処方薬



持病が悪化しないように処方薬などは多めに用意しよう

##### 防寒対策



ライフラインがなくても暖をとれるようにしておこう

##### 停電対策



スマホの充電器など予備電池も忘れずに



#### 外出時の注意

大前提として**「不要不急の外出はしない」**

そのうえで、やむを得ない時のために、いくつか紹介します。  
どうしても外出しなければならない時は・・・

##### 靴 靴底に溝が多い靴を選ぶ

防水加工されていたとしても靴底が平らなものは避けましょう。



##### 着 帽子、手袋は必ず着用

転倒してしまったときに、頭と手を保護してくれます。



##### 頭 頭上に注意！

足元ばかりに注意がいきりますが、落雪が直撃すれば死亡事故にも繋がります。



※路面が雪どけ水で凍るため、翌日以降も転倒などに注意が必要です。

☎ 南消防署予防課 ☎ 253-0119

## みなみ防災瓦版

南区マスコットキャラクター「みなっち」

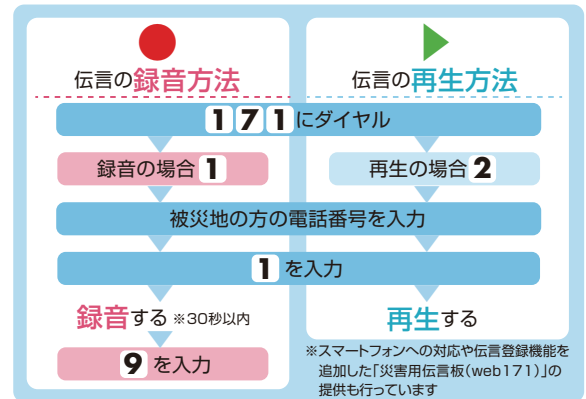


### 確認しよう。災害時の情報収集

発災した直後は、家族の安否や災害の大きさ、交通機関の運行状況などの情報をいち早く入手したいものです。横浜市では、さまざまな媒体を通して、各種災害に関する情報を配信しています。災害時に正しい情報を入手できるよう、日頃から情報ツールの使い方を確認しておきましょう。

#### 家族の安否を確認する～災害用伝言ダイヤル(171)～

災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板で、電話やインターネット(スマートフォン含む)から使用できます。発災時以外でも、**毎月1日や15日などに体験することができます。**一度体験し、使い方を覚えておくことで、いざというときに焦らず大切な人の安否を確認できるようにしましょう。



#### 横浜市ホームページ

災害時の緊急情報や、日頃の備えである自動・共助・公助の取組について掲載しています。



#### Twitter

横浜市総務局  
危機管理室  
公式アカウント  
@yokohama\_saigai



南区災害情報  
ツイッター  
@y\_minami\_saigai



#### メール

##### 横浜市防災情報Eメール (事前登録が必要です)

パソコンや携帯電話から事前に登録いただいた人に、地震、津波、気象警報・注意報、河川水位、緊急なお知らせなどを送信します。

##### 緊急速報メール(登録は必要ありません)

横浜市内のエリアにある携帯電話(NTTドコモ、au、ソフトバンクなど)に対し、横浜市の災害情報や避難情報などを配信します。  
※対応機種などについては、ご利用の通信事業者へお問い合わせください

##### 登録方法

右記二次元コードや下記メールアドレスへ空メールを送信してください。登録案内メールが届きます。▲二次元コード  
横浜市防災情報Eメール▼  
entry-yokohama@bousai-mail.jp



☎ 防災担当 ☎ 341-1225 ☎ 241-1151

南図書館  
だより

## 来ぶらり 今月のおすすめ本



### 一般書 歌丸ばなし

発行:ポプラ社  
書誌番号:3-0500539390

南区の真金町で生まれ育った桂歌丸師匠。この本は、師匠の十八番だった8編の断を、マクラも含めてそのまま収録しています。多くの人に愛された歌丸師匠の語り口がよみがえります。続編に「芸は人なり、人生は笑いあり 歌丸ばなし2」もあります。



### 児童書 しりとり

発行:福音館書店  
書誌番号:3-0500587292

言葉を覚えはじめた子どもは「しりとり」が大好き。この絵本は、どのページも安野光雅さんが淡い色彩で描いた愛らしい絵と言葉だけが並んでいます。何を選んでいくかで、毎回まったく違うしりとりになる、何度でもくりかえし楽しむことができる絵本です。

☎ 南図書館 ☎ 715-7200 ☎ 715-7271